

## 木津川市総合計画庁内本部会議 開催結果要旨

会 議 名			
令和7年度木津川市総合計画庁内本部会議			
日 時		場 所	市役所5階 全員協議会室
出 席 者  ■：出席者 □：欠席者 ▲：代理出席	本 部 長	■谷口市長	
	副 本 部 長 (3名)	■稲垣副市長 ■井上副市長 ■竹本教育長	
	本 部 員 (14名)	■小川政策監 ■小林危機管理監 ■高橋市長室長 ▲西置課長(会計課) ■茅早部長(企画戦略部) ■奥田部長(総務部) ■前川部長(市民環境部) ■米田部長(健康福祉部) ■吉岡部長(こども未来部) ■島川部長(建設部) ■平井部長(教育部) ■城田部長(上下水道部) ▲藤田局次長(議会事務局) ■佐々木局長(行政委員会事務局)	
	事 務 局	西村次長、藤木係長、新田	
議 題		1. 開 会 2. 議 事 (1) 第2次木津川市総合計画後期基本計画の進捗状況について 3. 閉 会	
会 議 結 果 要 旨		(1) 第2次木津川市総合計画後期基本計画の進捗状況について 各政策分野について、所管部長より進捗状況を報告した。資料の記載内容について標準化を図るとともに、次期計画における評価指標の設定方法、市の将来像や直面する課題について議論する場の設定について提案があった。	
		<div>1. 開会</div> <p>○本部長挨拶</p> <p>本計画は、木津川市の未来を描く最上位の指針であり、行政経営の根幹を支えるものである。</p> <p>まちの将来像である「子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市木津川」の実現に向け、基本計画に掲げる7つの基本方針、17の政策分野、47の施策がどこまで達成されたか、何が課題となっていて、どう対処していくべきなのかなど、皆さんと共有を図りたい。</p> <p>本日の会議では、活発な議論を通じて、来年度の予算編成、さらには令和10年度の次期総合計画の策定につなげることをお願いしたい。</p>	

<p>議 事 要 旨</p> <p>◎進行 ■説明 ○：質問・意見 ⇒：事務局意見・回答</p>	<p><b>2. 議事</b></p> <p>(1) 第2次木津川市総合計画後期基本計画の進捗状況について</p> <p>■説明（所管部長）</p> <p>〔資料1〕</p> <p>資料に基づき、令和6年度の第2次木津川市総合計画後期基本計画の進捗状況について説明を行った。</p> <p>（基本方針1）</p> <p>○：政策分野1子育てについて、母子保健に関する課題の記載が必要ではないか。</p> <p>⇒：追記する。</p> <p>○：成果指標の新規虐待件数が増加している一方で、重度虐待率は減少している。現状と重度虐待率の考え方は。</p> <p>⇒：重度虐待は、警察などと連携し継続的に支援を要するもの。案件があれば家庭に入りこんでフォローしている。引き続き、関係機関と連携強化していく。また、こども家庭センターを設置し相談支援を強化していることから、虐待の早期発見につながり、重度虐待率が減少していると考えている。</p> <p>○：ヤングケアラーの取組み実績の記載がないが、取組状況は。</p> <p>⇒：学校現場において生徒の様子を注意深く見守るなど、気づきや早期発見に努めている。</p> <p>○：児童クラブの外部委託や指定管理についての検討状況は。</p> <p>⇒：検討を進めているのでその旨追記する。</p> <p>（基本方針2）</p> <p>○：高齢者健康増進・移動支援モデル事業は高齢者福祉に記載しないのか。</p> <p>⇒：総合計画では政策分野13都市基盤に位置付けている。</p> <p>○：個別避難計画の策定状況について進捗率は70%と聞いているが。</p> <p>⇒：70%は避難行動要支援者名簿の整備率となる。個別避難計画は今後策定を進める。</p> <p>○：生涯学習に係る指標が全体的に下がっている。取組みの評価を行うこと。</p>
--	---

(基本方針 3)

○：地域おこし協力隊の次期体制は。

⇒：次期体制や任務について、今期の取組状況を見ながら検討を進めている。

○：地域おこし協力隊の記載が政策分野 13 都市基盤にもあり、重複している。

⇒：記載場所について整理する。

(基本方針 4)

○：政策分野 8 観光交流のにぎわい拠点について、今後の具体的な取組み予定は。

⇒：構想計画は策定しているが、構想の実現に向けた具体的な取組みは、城陽井手木津川バイパスの進捗次第となる。

○：恭仁宮跡の特別史跡昇格の後、構想の具体化について検討が必要では。

⇒：恭仁宮跡の活用と連携して取組みを進めるよう府と協議している。

○：城陽井手木津川バイパスの進捗を踏まえ研究を進めること。

○：政策分野 10 関西文化学術研究都市に京都産業大学や事業構想大学院大学との連携事業が記載されているが、学研都市との関係は。

⇒：関係性が薄いので記載場所について整理する。

(基本方針 5)

○：政策分野 11 防災減災について、災害時の相互応援協定等で対応が不足している分野はあるか。

⇒：どの分野も網羅的に対応できている。今後はさらなる多様化を図りたい。

(基本方針 6)

○：政策分野 14 交通ネットワークについて、市道 335 号の整備状況は。

⇒：市中心部の道路となるが、具体的な計画は今後検討することになる。

○：政策分野 15 自然・環境について、脱炭素の全市的な取組みを記載しては。

⇒：脱炭素の取組みの記載について検討する。

(基本方針 7)

○：政策分野 17 行財政運営について、旧加茂青少年山の家、加茂プラネタリウム館の利活用方針は。

⇒：現時点で利活用の具体案はなく、引き続き検討を進めることとしている。

○：政策分野 17 行財政運営について、行財政改革の外部評価の課題は。

⇒：外部評価と内部評価の結果に差異が見られ、内部評価における評価基準の標準化が課題である。

(全体)

○：将来的に外部評価も検討を進められたい。

○：より実態を反映した成果指標の設定が課題である。

○：部署により記載内容の精度に差異があり、標準化が必要。評価における課題に対し、改善では見直すべきことを具体的に記載されたい。

#### 4. 閉会

○本部長

平時から総合計画を意識して業務を行うこと。

また、本会議を総合計画の進捗状況の報告にとどめず、市の将来像や直面する課題を共有し議論を深める場としたい。

以上